

令和5年度 特別国体関東ブロック大会 水球競技【戦評】

会場：埼玉県大宮公園水泳場

【2023/8/3】

この試合のプレー集計

A-1決定

東京都 10

3	—	2
1	—	2
5	—	5
1	—	2

11 群馬県

PSO

荻野 浩明

審判:

齊藤 誠

東京都	22	SH数	20	群馬県
	1	速攻数	0	
	10	ST・SB	13	
	7	SH・P誘発アシスト	8	
	35%	GK阻止率	23%	
	6	EX反則数	7	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

群馬が⑦齋藤のループシュートで先制するが、東京はすかさず⑦渡邊・⑥森川が退水を誘発し、⑩武田が同点に追いつくと、⑤南、⑥森川が連続得点して群馬を突き放す。ピリオド終盤、東京の攻撃を寸断した群馬が4-3速攻の展開で、右サイドからセンター位置に入り込んだセンター⑥前田がダブルマークを振り切って、東京3-2群馬で第1ピリオド終了。

2P

徐々に群馬らしさが出てきたところで、④齊藤が豪快にトップ位置から決めて3-3の同点に追いつく。その後、両者が互角の攻防を展開するが、センター⑥前田が機能している分、群馬優勢でゲームは進んだ。東京のパスミスからの群馬の攻撃、⑥前田が退水を誘発し、そこを④齊藤が決めて群馬が逆転。東京も群馬の右サイドへのパスを⑤南が予想してのインターセプトから速攻。これを⑩武田が決めて4-4の同点で前半を折り返した。

3P

群馬が優勢にゲームを支配し、東京側の攻撃時のミス(パスミス、オフense反則)を突いて連続得点(⑩椎名、④齊藤)。このまま群馬ペースになるかと思いきや、東京も粘り強くボールをつないで退水を誘発して加点。お互いに特徴を出し合う形で点数を奪い合う試合に。残り30秒を切って、東京のオフense反則から群馬④齊藤が退水を誘発し、タイムアウト。左利きの⑨深澤が決めて(0:01)東京9-9群馬の同点で最終ピリオドへ。

4P

両者緊張感のある展開で、なかなか決定機を許さない。東京の攻撃を防いだ群馬が3-3攻撃で、センター⑥前田が退水を誘発して群馬が均衡を破った。その後、東京も猛攻を仕掛けるが必死に群馬が守る形。群馬はディフェンスに選手を残し、攻撃メンバーは少数にして試合を進める中、またもやセンター⑥前田が退水を誘発して自分で決めて2点差(1:21)。この得点につながる東京のパスミスは、東京側の速攻で左サイドを抜けた選手へのロングパスを群馬④齊藤がインターセプトしたのだが、ちょうどそのタイミングで東京側にやや強い逆風が吹き、ボールが押し戻された結果であった。このパスが通っていたら決定的な状況だっただけに、屋外プールでの自然現象が東京側には全くの不運であった。それでも残り時間1分を切って東京が猛攻。ゴール前の混戦状態を⑨角道が押し込んで1点差に迫った(0:33)。群馬は残り時間を使ったところで東京が最後のタイムアウトを取り、GKも攻撃メンバーに加えた形で勝負に出たが、シュートが外れて試合終了(東京10-11群馬)。

群馬がAブロックを勝ち抜き、第1代表をかける形となった。敗れた東京はAブロック2位となり、第2代表以下での代表権を目指すことになった。